

景況調査回答企業の概要 (平成19年2月調査)

《概要》

- 2月調査の回答企業の所在地では、「城東」の割合が30.6%とも最も高く、「城西・城北」が16.9%、「都心」が15.7%である。業種別にみると、製造業、卸売業は「城東」、小売業は「城西・城北」、サービス業は「都心」の割合が最も高い。
- 資本金は、「1千万円以下」が39.7%、「1千万円超5千万円以下」が40.0%を占める。小売業は「1千万円以下」の割合が5割以上と高い。
- 創業年をみると、昭和49年以前の業歴30年以上の企業が8割近くを占める。製造業、卸売業、小売業は「昭和29年以前」が5割を超える。一方、サービス業は昭和50年以降の割合が44.6%と高い。
- 経営者の年齢は「60歳代」が40.0%で最も多く、「50歳代」が24.9%で続く。小売業の「70歳以上」は27.2%を占めている。経営者の続柄・出身は「二代目以降（親族）」が57.9%と最も高く、次いで「創業者」が30.7%である。サービス業は「創業者」が半数を占める。
- 後継者の有無をみると、後継者が「決まっている」は39.7%、「まだ必要ない」が26.7%と続いている。小売業は廃業等で「必要ない」とする企業割合が2割を超える。

回答企業数

	対象数	回答数					
		計	小規模	中小規模	中規模	大規模	規模不明
全体	3,875	1,339	434	277	307	241	80
製造業	1,125	444	123	91	114	92	26
卸売業	875	320	133	54	65	56	11
小売業	875	281	76	83	77	23	21
サービス業	1,000	294	102	49	51	70	22

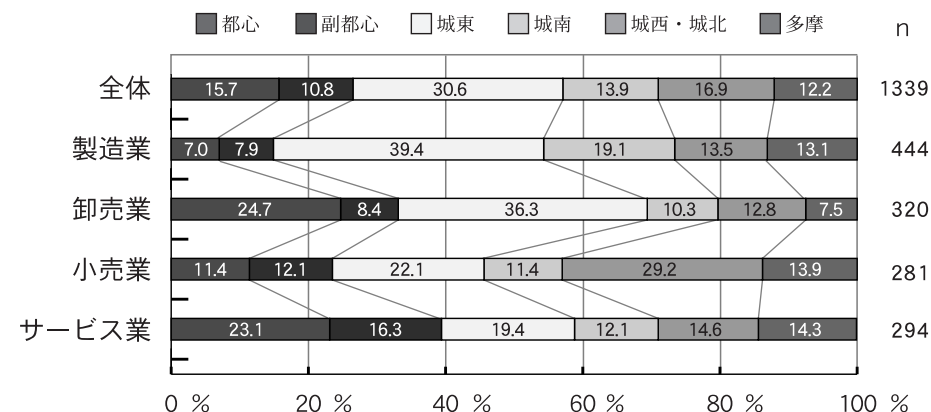
(規模区分については2ページ参照)

1 所在地

2月調査の回答企業(以下の設問も同様)の所在地を地域区分(注1)でみると、「城東」の割合が30.6%と最も高く、以下「城西・城北」が16.9%、「都心」が15.7%と続いている。

業種別でみると、製造業は「城東」が39.4%と最も高く、次いで「城南」の19.1%となっており、両地域で約6割を占める。卸売業も「城東」が36.3%、「都心」が24.7%と、この地域の割合が高い。一方、小売業は「城西・城北」「城東」の2地域の割合が高くなっている。また、サービス業は他業種に比較して「都心」と「副都心」が高く、両地域の合計は約4割に達する。

図表1 所在地



(注1) 地域区分

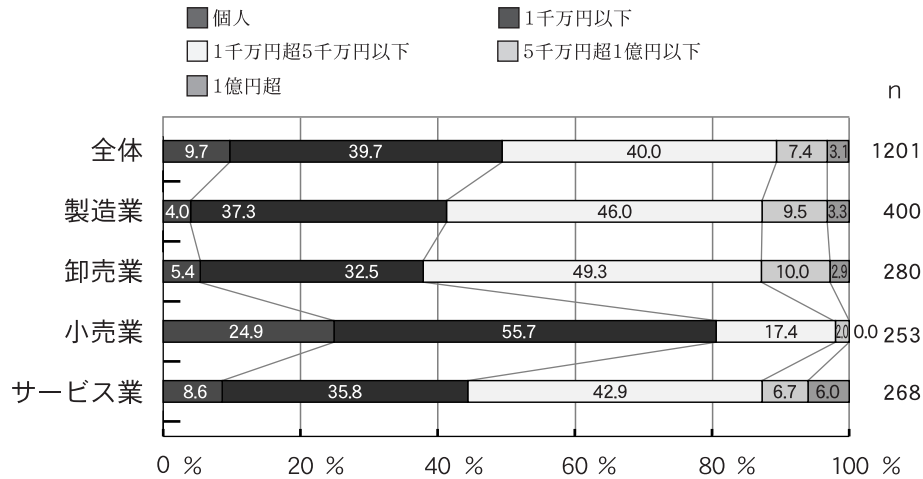
①都心(千代田、中央、港)、②副都心(新宿、文京、渋谷、豊島)、③城東(台東、墨田、江東、荒川、足立、葛飾、江戸川)、④城南(品川、目黒、大田)、⑤城西・城北(世田谷、中野、杉並、練馬、北、板橋)、⑥多摩(多摩地域の市町村、島しょ)

2 個人・資本金別構成

個人・資本金別構成を全体で見ると、「1千万円以下」が39.7%、「1千万円超5千万円以下」が40.0%となっており、資本金5千万円以下の企業が8割近くを占める。なお、「個人」企業も9.7%を占めている

業種別にみると、製造業、卸売業、サービス業は「1千万円超5千万円以下」の企業が4割を超え、最も大きな割合を占める。また、3業種とも5千万円超の企業が1割を超えている。これに対し、小売業は「個人」が24.9%、「1千万円以下」が55.7%と高く、他3業種の個人・資本金別構成とは大きく異なる。

図表2 個人・資本金別構成



(参考) 中小企業基本法による中小企業の定義(下記基準のいずれかを満足する企業)

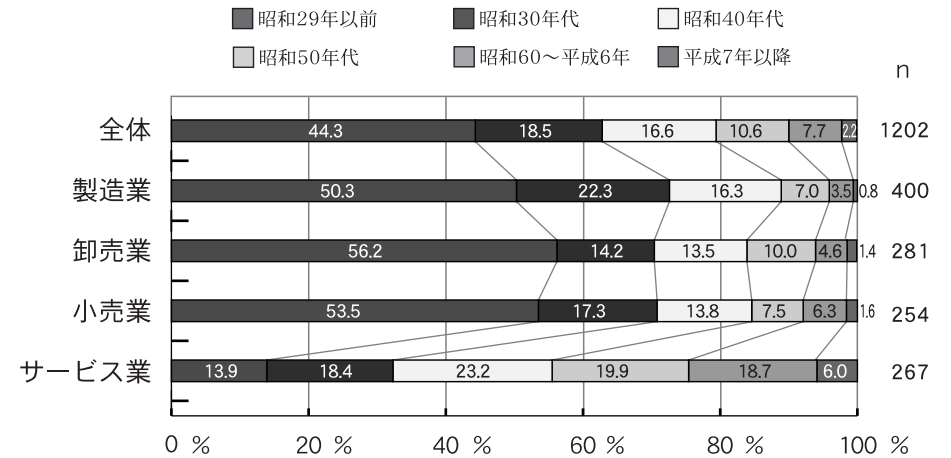
区分	資本金基準	従業員数基準
製造業	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下
サービス業 (ソフトウェア、情報処理サービス)	5千万円以下 (3億円以下)	100人以下 (300人以下)

3 創業年

創業年を全体で見ると、「昭和29年以前」が44.3%で最も高く、「昭和30年代」が18.5%、「昭和40年代」が16.6%と続き、業歴30年以上の企業が8割近くを占めている。

業種別にみると、製造業、卸売業、小売業では「昭和29年以前」の企業が5割以上を占め、業歴の古い企業が多い。サービス業では「昭和29年以前」が13.9%と低い一方、昭和50年以降に創業した企業が44.6%と高い割合を占めている。

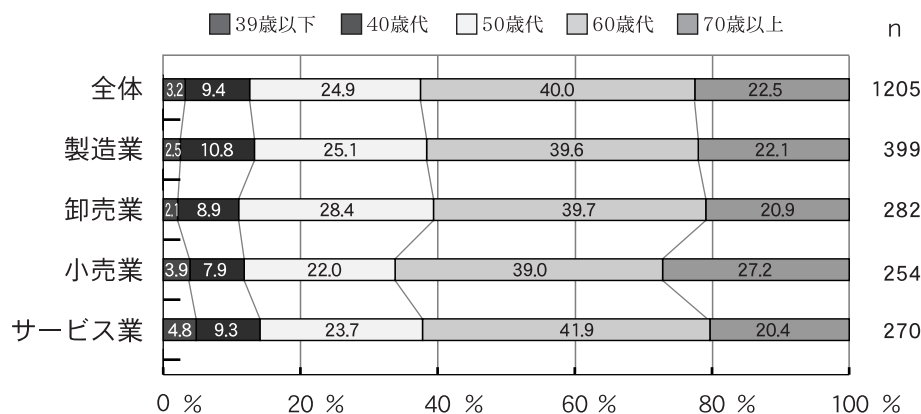
図表3 創業年



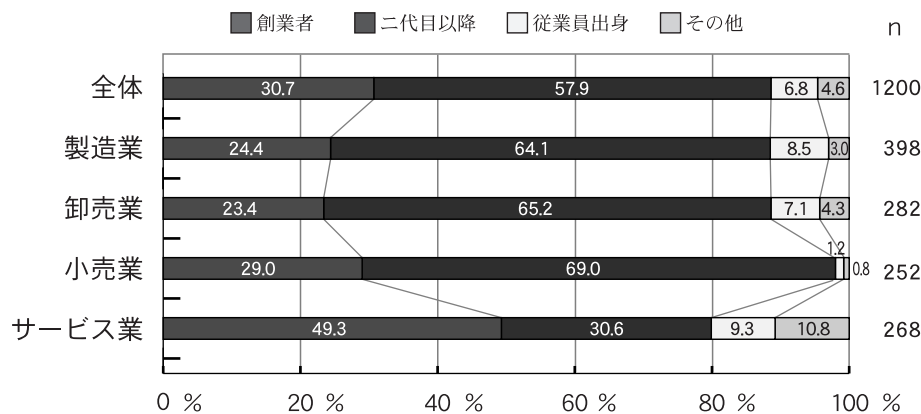
4-1 経営者の年齢

経営者の年齢を全体でみると、「60歳代」が40.0%と最も高い。次いで「50歳代」が24.9%、「70歳以上」が22.5%と続いている。60歳以上の経営者が全体の約6割を占める一方で、「39歳以下」は3.2%、「40歳代」は9.4%と若い経営者の割合は比較的低い。

図表4 経営者の年齢



図表5 現在の経営者の続柄・出身



業種別にみると、小売業の「70歳以上」の割合がやや高いことを除けば、業種毎の構成比に大きな差はない。

4-2 現在の経営者の続柄・出身

現在の経営者の続柄・出身を全体でみると、「二代目以降(親族)」が57.9%と最も高く、次いで「創業者」が30.7%であった。(図表5参照)

業種別にみると、製造業、卸売業、小売業は業歴の古い企業が多いこともあり、「二代目以降(親族)」が6割を超えている。対照的に、創業年次の新しい企業が多いサービス業は、「創業者」が半数近くを占めている。なお、小売業は、「従業員出身」の経営者の割合が1.2%と他業種に比べて低い。

5 後継者の有無

後継者の有無を全体でみると、後継者が「決まっている」は39.7%と最も高く、「まだ必要ない」が26.7%と続いている。「必要ない(廃業や事業の譲渡・売却等)」とする割合は13.9%と低い。

業種別にみると、製造業、卸売業は「決まっている」「まだ必要ない」を合わせて7割近くを占める。小売業は他の業種に比べ「まだ必要ない」が15.6%と低く、「必要ない(廃業や事業の譲渡・売却等)」が26.2%と高く、他の3業種と異なる構成割合になっている。

図表6 後継者の有無

